



平成30年6月18日

例年になく早い梅雨入りから、早くも10日が過ぎました。うっとうしい陽気はまだまだ続きそうですが、会員の皆さまにはご健勝のこととお喜び申し上げます。

今朝（6/18）大阪の北部で震度6弱の地震がありました。被災に遭われた皆さまには心からお見舞い申し上げます。

5月の連休中の豊実では新緑の大自然に癒されましたが、突然の地震や津波への備えもまた、日ごろから忘れてはならない我われの務めのようなのです。

5月7日の通常総会では議案も滞りなく承認され、二人の新理事（時崎庸二、神田八郎）と監事（森英夫）が就任いたしました。

また、佐藤賢太郎理事長から移住・定住を推進する活動について、本年度は本格的に取り組む姿勢が述べられ、その拠点として「ホスト館・展示館」の整備を進めていく旨、力強い発言がありました。

最近の豊実は外国人ウーファアの活躍が目覚ましく、その様子はHPで佐藤さんも度々書かれています。田んぼの整備や石夢工房の小屋造りなどに大きな成果を上げています。

その流れは今後の予定を見ても、加速されていくようです。

7月に入るとドイツ人がふたり、その後日本人の建築家も来訪し、イギリス人とアメリカ人と続いています。彼らは、日本の豊実のどんなところに惹かれるのでしょうか。

それを探っていくと、過疎地に移住・定住者を推進していくヒントを掴むことができるかもしれません。皆さんで大いに語り合っていきたいものです。

（事務局/森絃一）

<近々のイベント予定>

○「奥阿賀・魅力ある野外舞台」の後援 7/28（土）13～14時半

主催は「奥阿賀・魅力ある野外舞台実行委員会」

○第15回「里山アート展」の準備 9/14（金）～19日（水）9～17時

作品つくりと会場整備

2018. 6. 17

今のコスモ夢舞台と里山アート展に向けて
佐藤賢太郎

NPO法人コスモ夢舞台は、平成22年5月17日に設立以来、急速に変化しています。設立の目的は「活力ある地域づくりと個人の活力再生に関する事業を行い、少子高齢化の進む過疎地域と都市との交流を促進する」とあります。

ところが今や、会員だけでは維持できなくなり、コスモ夢舞台を推進するためにウーファー、研修生（教育）、心ある方々（会員以外）がコスモ夢舞台の環境整備や農業を担っているという現況であります。

そこで私は、1. ウーファーの存在 2. 田んぼや畑での研修 3. 過疎問題 4. 農業と健康 5. ものを生かす（リサイクル）に活動の重点をおいています。これからも折に触れて、皆さんと話し合っていきたいと考えています。

それに伴い、ホームページも変えなければならないと思っています。

一方、お金がなくとも地域創生はできると考えています。それには創造、工夫、ひらめき、実行が必要だと思います。

里山アート展の作品づくりについても、こうした考え方を反映させていくつもりです。

さて、今年の里山アート展は第15回、節目の開催となります。実行委員会としては、今年は特化して誰でも参加し楽しめるように、工夫をしながら事前の準備を進めてまいります。

次ページに作品候補のデザイン写真を添付します。例えば、これと思う番号を実行委員にお申し出ください。先着優先です。あとは、参加しながらご自分で考え、自分の作品に仕上げただけであればOKです。

もちろん作品は公募ですので、ご自分のオリジナルでの出品は大歓迎です。

皆さんの積極的な参加が、魅力ある地域づくりにもつながっていくと考えています。実行委員一同、そこに焦点を合わせて作業を進めてまいります。

ご協力、よろしく願いいたします。



1



● 2 (長谷川)



3



● 4 (カセン)



● 6 時崎



● 7 (佐藤)



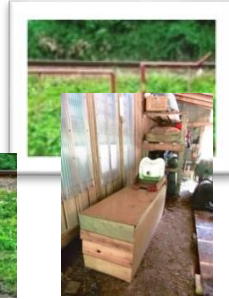
8



● 9 (桐山)



● 10 (小口)



● 11 (森紘)



12

(佐藤)



13



● 14



● 15



● 16



● 17 (佐藤)



● 18 (御杵)



● 19



● 20 (佐藤)



21



● 22



● 23



24



25



26

*数字の前に●の付いた写真は決定済みです。